

## 夏も本番！プール開き続々

6月7日から、市内の学校でプールの授業が始まりました。9日は栗須小で1、2年生がプール開き。外村正人校長から「水は友達だけど、怖いところもあるので気を付けて」と注意を受けた後、水に慣れるための活動を楽しんでいました。



## 窪田地区の営農研修館が完成

5月28日、南西方窪田地区営農研修館落成式が行われました。住民の交流や活動の場、集落営農の拠点として今年2月に着工。館内で行われた式には、地区民や建設関係者ら50人が出席し、完成を祝いました。



## 収穫が楽しみ。甘藷植え付け体験

5月31日、細野2区大王集落で、ふれあい農園が行われました。大王集落員や昭和幼稚園の園児ら26名が参加し、約1000平方メートルのほ場に甘藷の苗を植え付け。今後集落で管理を行い、秋に収穫予定です。



## おいしいお米が育ちますように

6月8日、西小林小の5・6年生児童66人が学校裏の田んぼで田植えを行いました。保護者や地域の農家が子どもたちに植え方を指導。児童は、柔らかい泥の感触に歓声を上げながら、上手に苗を植えていました。



## 西小林中と紙屋小が市議会を見学・傍聴

6月9日から小林市議会定例会を西小林中8年生と紙屋小6年生が見学・傍聴に訪れました。子どもたちは、真剣な議論を見て「真面目に取り組んでいると感じた」、「親近感がわいた」と感想を話していました。



県歌人協会梅崎 市長が応募作品を講評。その後選考が行われ、一般の部、小・中学生の部の全12点が表彰されました。

## 歌人長塚節ゆかりの地で 短歌掲示選考会開催

6月14日、ゆ〜ぱるのじりで大塚原公園短歌掲示選考会が開催されました。第3回となる今回の歌題は「自然」で、2年間で応募のあった222首から選考。公園内の歌碑に篆刻されることになる一般の部最優秀賞は、柳田さかえさんの歌『蚕を飼ひし名残りの桑の木一本が大樹となりて緑陰をなす』が選ばれました。



保育まつりは、園児による歌や、保育士によるダンス・劇など盛りだくさん。会場と一体となって大いに盛り上がりました。

## 市内の保育園児と保育士が集合 小林保育まつり開催

6月19日、小林保育まつりが文化会館で開催されました。市内にある22の認可保育園が参加し、3部構成で園児や保育士が歌や劇など、日頃の練習の成果を披露。第一部では、保育園児がステージいっぱいに登場し、「手のひらを太陽に」を手話を交えて元気に歌いました。

## ゆめの輪コミュニケーションが、感動のファイナルステージ。

6月12日、文化会館でゆめの輪コミュニケーション～ファイナルステージ～が開催されました。障がい者と地域住民との交流イベントで小林市、えびの市、高原町の5つの障がい者施設の利用者らが、日頃練習した歌や踊りなどを披露。最後に南崎由美子代表が「イベントは最後になりますが、ゆめの輪の活動は続けていきます。新しい展開を目指して、また会えることを願っています」と締めくくりました。



第1部は、5施設（小林市・ほのぼの園、ありの実園、ふれあいの里 / えびの市・えびの福祉作業所 / 高原町・あさひの里）の発表。



(写真上) 最後は、会場全員でイベントのテーマソング「ゆめはかなうから」を合唱しました。(写真右) 会場ロビーで開かれた「歩一歩の店」。

(写真下) 2部は、市民団体や保育園など4団体が発表しました。

## 目指せロンドン五輪 ハンド女子日本代表が合宿

6月11日と12日、秀峰高校でハンドボール女子日本代表が強化合宿を行いました。代表チームは、秀峰高校男女ハンドボール部と試合形式で、戦術などを確認。同チーム監督の黄慶泳監督は「高いレベルのチームと練習でき、五輪予選に向けていい合宿ができた」と話していました。



代表チームへ市から特産のメロンを贈呈。10月12日から中国で開催されるロンドン五輪アジア予選突破を目指します。



キャンペーンでは、駅前を通行する高校生などに、ワイヤー錠や啓発のチラシなどを配布し、防犯を呼びかけました。

## 自転車盗難防止に効果 思いやりロックキャンペーン

6月9日は「ロックの日」。JR小林駅では小林地区遊戯業組合や安心・安全パトロール隊など約30人が警察と啓発活動を行いました。小林警察署生活安全課の永山正春係長は「施錠する人が増え、自転車盗は減少している。どこでも鍵をかける習慣を」と話していました。